

事業所における自己評価結果（公表）

公表

令和5年10月1日

事業所名： こどもリハスタジオメロディー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	5	0	活動に応じて物品の出し入れを行い、活動スペースを十分とれるように配慮している。	動きの大きい児童が増えたため活動や行動にやや制限が出てきている。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	安全確保が行える職員配置数となっている。	利用者数によっては余剰人員が出てしまうことがある。
	③	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	年齢や身体能力に合わせて、日々事業所の空間作りを工夫している。	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	5	0	毎日の清掃や感染対策の換気や消毒を行っている。	
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	業務の改善提案をスタッフが言い、月1回開催の業務改善委員会で是非の協議を行っている。	職員会議や朝礼等で話し合いはできているが、振り返りは不十分。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	5	0	送迎時などに情報収集を行い、意向の確認をしている。	

業務改善

⑦	事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価および改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページでの開示、保護者へ印刷物を通じての開示を行っている。	
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げている	5	0	問題が生じた際には第三者委員会により、助言を受けられるように連携関係にある。	事業所評価を活用するなどして現在よりも第三者委員会に運営について興味を持ってもらえるように工夫していきたい。
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	新人研修や外部研修に参加し、スキルアップにつなげている。	
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	職員間での情報共有を行いながら、支援計画を作成している。	
⑪	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		適切なアセスメントツールを用いた評価を定期的に行っていききたい。

適切な支

援
の
提
供

⑫	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている</p>	5	0	<p>きょうだい児への支援として夏季休業時にグループ内の菓子店で菓子作り体験を開催。</p>	
⑬	<p>児童発達支援計画に沿った支援が行われている</p>	5	0	<p>支援計画案を確認したうえで支援に当たっている。</p>	
⑭	<p>活動プログラムの立案をチームで行っている</p>	5	0	<p>チームで情報共有しながら立案し、朝の会などでも共有している。</p>	
⑮	<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫している</p>	5	0	<p>成長する状態に合わせてプログラムを作成したり、季節や天気に応じて公園や屋外での活動も取り入れている。</p>	<p>バリエーションの拡大を図っていけるよう、話し合う機会を持てるようにしたい。</p>

⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	子どもに関わる全てのスタッフによりここに 応じた活動内容を思案し、児童発達支援計画に反映させている。	
⑪	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎朝、ミーティングを行っている。	
⑫	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	1	4	申し送りノートを活用することで、その日に起こったトピックスなどについては共有を図っている。	多職種とも情報共有を行っていききたい。利用児の迎えの時間がバラバラであり、遅くまで利用されている児童もおられる為、時間がとれず実施できていない。
⑬	日々の支援に関して記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援記録を作成し、必要に応じて読み返すことで支援の一助としている。	
⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	5～6か月でモニタリングを実施しているが、入院したり体調不良等で調整できず6か月以上になってしまう場合は、保護者の方にもご了承いただき、調整でき次第、実施している。	

関係機関や保護者との連携

⑲	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5	0		
⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	相談支援専門員や地域の保健師等と連携を図っている。	
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	相談支援専門員や地域の保健師等と連携を図っている。	
㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	主治医指示書をいただいております、年1回見直しを行っている。	

②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	学校への迎え時、教員らと情報共有を行い、統一したケアに努めている。	保護者を通して支援内容の情報収集は行えているが、本事業所の支援内容の情報は共有できていない。
②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者の相談に適宜対応している。	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	案内いただく研修には、可能な限り参加している。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	障がいデイセンターやケアハウスとの交流機会があるが同世代との活動できる機会は少ない。	コロナ禍であった為、実施できていない。重症児対象である為、しばらく実施を見送っている。

②⑨	(自立支援)協議会 子ども部会や地域の 子ども・子育て会議 等へ積極的に参加し ている	1	4		会議の案内がない。
③⑩	日ごろから子どもの 状況を保護者と伝え あい、子どもの発達 の状況や課題につい て共通理解を持って いる	5	0	送迎時や連絡帳を用い て行うことができている。	
③⑪	保護者の対応力の向 上を図る観点から、 保護者に対して家族 支点プログラム(ペ アレント・トレーニ ング等)の支援を 行っている	3	2	ニーズに応じて自宅 でのセルフトレーニング を指導している。	
③⑫	運営規定、利用者負 担等について丁寧な 説明を行っている	5	0	児童発達支援管理責任 者が主に説明を行い、 不足があれば各職種が 補足している。	
③⑬	児童発達支援ガイド ラインの「児童発達 支援の提供すべき支 援内容と、これに基 づく作成された「児 童発達支援計画」を 示しながら支援内容 の説明を行い、保護 者から児童発達支援 計画の同意を得てい る	5	0	児童発達支援管理責任 者が主に説明を行い、 不足があれば各職種が 補足している。	

③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	収集した情報をもとに助言や支援方法の提案を行っている。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		コロナ禍であった為、実施できていない。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	会報誌およびSNSを通じて情報の発信を行っている。	

③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	5	0	個人情報保護法を遵守して対応している。	
③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	グループ全体で統一したBCP計画を策定中。	

非常時等の対応

④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	定期的な避難訓練を実施している。洪水時の対応として、今年度は垂直避難訓練も実施。	
④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	0		
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	食物は自宅から持参されたもののみを提供している。 緊急時対応マニュアルにアレルギー情報を記載している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	月1回介護安全委員会にて内容の確認、対策、改善内容も協議、報告している。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	施設内研修を定期的実施している。（全スタッフ受講必須）	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	定期的な身体拘束会議を実施し、必要性について議論している。また会議内容をもとに同意書を作成し、保護者に説明して同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。